

川平地区 社協だより

第86号

令和4年3月1日発行

川平地区社会福祉協議会

発行責任者 会長 伊東 祐朗

編集 地区社協広報部

《会長挨拶》

～令和3年度を振り返って 「苦は楽の種」として～

会長 伊東 祐朗

コロナ下では、会合をもつにも感染対策で人数や回数、時間などの制限や制約もありましたが、会えただけでも皆さんの笑顔が増えていたようでした。様々な課題も発見できたのではないのでしょうか。

ところで、名称の『川平地区社協』は、川平小学校区内を生活圏域とする住民で構成する社会福祉協議会ということですが、実際の生活圏を中学校区までと考えるとどうでしょう。

川小卒業生の進学先は桜丘中、中山中です。「高齢者ケア」は桜ヶ丘、国見ヶ丘の包括支援センター。「市民センター」は水の森、中山。「赤十字奉仕団」は桜ヶ丘、川平、中山。「警察」は桜ヶ丘駐在所、中山交番など。連携・相談・利用などで福祉課題の解決も期待できます。

《各種報告》

～令和3年度 社協会費御礼報告～

川平地区社会福祉協議会

会長 伊東 祐朗

(公印省略)

本年度も募金活動にご協力いただきありがとうございました。

社会福祉協議会(社協)は地域福祉の推進を図ることを目的とした社会福祉法人です。仙台市社会福祉協議会は、『一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり』を基本理念とし、地区社会福祉協議会や町内会、福祉団体・施設、ボランティアの協力をいただきながら、行政機関等と連携してさまざまな福祉事業を進めています。〈仙台市社会福祉協議会会員加入のお願いのチラシより抜粋〉

区域名	特別賛助会費		普通会費		会費合計額	地区担当理事
	人数	金額	人数	金額		
川平団地町内会	3	3,000	925	257,600	260,600	谷岡 洋志
西勝山町内会	1	1,000	646	198,800	199,800	和泉 忠男
中山北部町内会	1	1,000	557	167,300	168,300	秋山 健治
杉崎町内会	1	1,000	246	75,200	76,200	及川 みち子
川平わかば町内会	7	7,000	140	45,100	52,100	中野 智美
合 計	13	13,000	2,514	744,000	757,000	

～令和3年度 日赤活動資金（会費）御礼報告～

川平赤十字奉仕団

団長 伊東 祐朗

川平地区社会福祉協議会

会長 伊東 祐朗

（公印省略）

赤十字活動資金（会費）募金活動に、ご協力いただきありがとうございました。

「赤十字の活動は、国や地方自治体からの補助金はなく、赤十字の人道的な活動に賛同していただいた皆様からお寄せいただく活動資金（会費）により成り立っています。」

皆様の善意が赤十字事業に多くの支援となることを願い、集計結果のご報告とさせていただきます。

区域名	人数	会費合計額	奉仕員氏名
川平団地町内会	917	352,100	谷岡 洋志
川平わかば町内会	170	56,010	中野 智美
西勝山町内会	637	303,400	和泉 忠男
杉崎町内会	249	123,500	及川 みち子
中山北部町内会	561	280,000	秋山 健治
5区域	2,534	1,115,010	

～令和3年度 共同募金（赤い羽根）納入御礼報告

川平地区社会福祉協議会

川平地区共同募金会

会長 伊東 祐朗

（公印省略）

本年度も募金活動にご協力いただきありがとうございました。

区域名	人数	募金合計額	担当理事
川平団地町内会	901	202,000	谷岡 洋志
西勝山町内会	640	282,150	和泉 忠男
中山北部町内会	555	142,700	秋山 健治
杉崎町内会	239	74,600	及川 みち子
川平わかば町内会	173	48,540	中野 智美
合 計	2,508	749,990	

（問い合わせ先：経理部 阿部 幸子）

～子育てサロン かわだいラッコ～

今年度はコロナ禍、コミセン改修工事のため3回だけの開催となりました。来年度は毎月開催を予定しております。詳しくはポスター、町内会回覧でお知らせいたします。

＜福祉部＞



《令和3年度 川平地区社会福祉協議会活動のご紹介》

- 川平社会福祉協議会は川平小学校・学区内の地域福祉の推進する活動を行います。
- 高齢化が進み、孤独、孤立化をすくなくするために地域内の交流活動を推進します。
- いつまでも元気で明るく楽しく過ごしていくために町内会をはじめ関係諸団体と連携して地域福祉の実現を図ります。

総務部会

会議のスムーズな運営を行います

- 事業計画・報告を作成。
- 市・区社協、関係団体、役員との連絡・調整



経理部会

会の収入の確保と適正な支出を行います

- 収支管理、証拠書類の保管
- 募金の管理と関係団体への報告
- 助成金、募金の交付金等
小地域福祉ネットワーク活動
への事業費配分
 - ・安否確認活動
 - ・日常生活支援活動
 - ・いきいきサロン活動
 - ・子育てサロン活動



福祉部会

地域福祉活動との連携を図ります

- 高齢者対象のいきいきサロンの各町内会の実施・報告集約
- 福祉活動研修会の開催
地域の相談機能の充実に向けて市のコミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）との交流
- 乳幼児対象の子育てサロン“かわだいラッコ”の活動



広報・研修部会

福祉活動の紹介、研修会の広報・行事報告を行います

- 社協だよりを年間2回発行
令和3年9月 No85を発行
令和4年3月 No86を発行



地域福祉活動推進員

- 住民主体のさまざまな支えあい活動の基盤であり、今後もますます重要となる小地域福祉ネットワーク活動の推進役を担う地域福祉活動推進員

募金部会

募金活動の増強を図ります

- 日赤会費活動
- 社会福祉協議会会費
- 共同募金活動
- 会員からの募金額が多くなると上位機関からの助成金、交付金が多く配分されるので募金の増強を図ります。



川平地区社会福祉協議会 参加マップ

- ①～⑥団体より役員が選出され構成されています。

- ①～⑥団体と川平地区社会福祉協議会間での「連絡・協力・支援」に努めています。



《活動報告》

～「コロナ」と「特殊詐欺」に負けないで～



三回目のサロンは、仙台市消費生活センターの講話「手口を知って、被害を防ごう」を実施いたしました。全国的に被害が増えている特殊詐欺などの悪質な手口を勉強し、絶対にだまされないようにしたいとの思いを強くしました。

26名の参加者が熱心に質問をしたり、だまされそうになった経験談を話したりなど有意義な時間を過ごしました。

久しぶりに会った皆さんは、マスクでのお喋りをとても楽しそうにしており、目に笑いが見られ良かったです。

(中山北部福祉の会会長 加藤和子・記)

～川平団地町内会 いきいきサロン第2回～



11月に2回目のサロン会が開かれました。青葉消防署荒巻出張所長による、救急救命時の対処の仕方についてお話頂き、皆、熱心にお聴きいただきました。恒例の手作り食事は無しで、持ち帰り弁当になりましたが、会員の皆様にはとても喜んでいただき、またの開催を楽しみに再開となりました。もしかしたら、来年は平年通りにと淡い期待を持ったりしましたが、ここに来て「オミクロン株」の影におびやかれそうです。

(川平団地町内会福祉部長 谷岡洋志・記)

～ボッチャ競技の体験～



コロナウイルスの影響で延び延びになっていました「いきいきサロン 第一回」を令和3年11月7日に開催。オリンピックで話題になりましたボッチャの体験企画を用意して進めました。日頃から運動不足になっている所を癒し、健康で健全な毎日を過ごして頂きたいと考えました。

参加者は27名で年配の方が主でしたが年齢を感じさせられない位はつらつとされており、競技に夢中になり元気一杯で青春を味わっておられるようでした。

参加された方々より、「来年もボッチャの体験企画を再度立ててほしい」との要望を数多くいただいた他、「新しい仲間(お茶のみ仲間)が沢山増えた!」と喜びの声もいただきました。

私儀、「青春とは凄い事だなと感動させられる昨今です」

(西勝山町内会福祉部長 和泉忠男・記)

～杉崎町内会「いきいきサロン」の活動状況について～



杉崎町内会では、コロナ禍により「いきいきサロン」の活動を休止しておりましたが、1年10か月ぶりに開催しました。コロナ禍で、ご高齢の皆さんが外出を控えるなど、体力の低下がみられることから開催することにしました。

今回は集会所に於いて開催することを断念し、感染対策が完備されていることから、秋保温泉のホテルで開催しました。

ホテル到着後、温泉に入り日頃のストレスを発散して頂き、その後は別室の大広間に移動し、豪華で美味しい昼食を頂きました。食後は、カラオケをするなど楽しんでいただきました。

帰り道に、秋保名物のおはぎを買うなど、参加した皆さんに喜んでいただくことが出来、開催して良かったと感じております。

(杉崎町内会福祉部長 及川みち子・記)

編集
後記

今年度最終発行号となります。来年度も、より読みやすく、社協活動をわかりやすくお伝えできる紙面となるよう努めてまいります。
よろしくお願いいたします。

《編集スタッフ一同》

